

ERA (ENDOMETRIAL RECEPTIVITY ANALYSIS)

子宮内膜着床能検査

検査の目的

原因不明の反復着床障害（良好胚を複数回移植しても妊娠に至らない場合）の約30%に、胚移植の時期と子宮内膜の**着床ウィンドウ**（胚が着床できる時期）の不一致があるという研究が、2014年にスペインのIVI Valenciaという施設から発信されました。**着床ウィンドウ**には個人差があり、適切な時期に凍結胚移植を行うことにより妊娠の可能性が向上することを示したものです。

ERAは子宮内膜組織からRNAを抽出し、次世代シーケンサーを用いて236個の遺伝子の発現を解析することにより**着床ウィンドウ**を明らかにする検査です。**ERA**により適切な移植時期を判断することができるかもしれません。

検査の方法

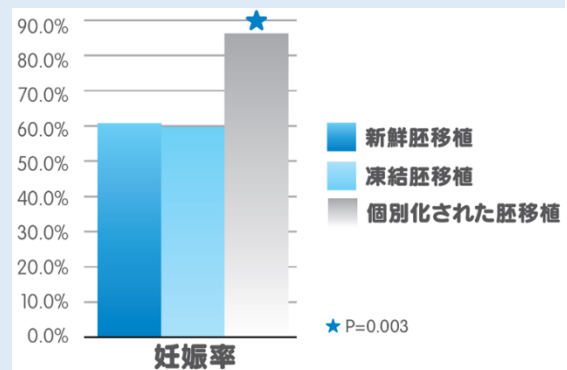
ホルモン補充周期の場合は黄体ホルモン（P）投与開始日から5日後（P+5）に、自然周期の場合は排卵の5日後（LHサージまたはhCG投与から7日目；LH+7またはhCG+7）に子宮内膜を採取します。検査周期には胚移植は行えません。

検査の結果

検体はスペインに送られて解析されます。結果は2～3週間後に報告されます。

結果が「**Receptive (受容)**」の場合は**着床ウィンドウ**に問題がなく、同じ時期に胚移植することで妊娠を期待できます。

結果が「**Non - Receptive (非受容)**」だった場合は再検査が必要です。検査結果には次回の検査時期が指示されています。再検査して最適な移植時期を特定することにより、妊娠率が24%向上したと報告されています。



検査に伴う有害事象および不利益（免責事項）

非常に稀ですが、子宮内膜組織採取時の出血、感染、子宮穿孔等のリスクがあります。

検体輸送中の事故等による破損もしくは逸失については、理由を問わず当院では一切の責任を負えません。

検査の同意の取り消し

検査の実施前であれば同意を取り消すことができます。しかし、すでに開始された医療行為（ホルモン補充等）については同意のうえで行われたものとします。

個人情報の取り扱い

身元が確認できる情報と個人情報は、個人情報保護法および関連するガイドラインに従い厳重に管理し、法律に基づいて要求される場合を除き保護されます。ただし、守秘義務誓約書を交わした審査機関に提出することがあります。学会報告や論文に使用する場合は、情報をすべて匿名化し、個人を特定できないよう配慮します。

参考文献

[A Genomic Diagnostic Tool for Human Endometrial Receptivity based on the Transcriptomic Signature](#) Fertil Steril. 2011, 95. Diaz-Ginemo P, et al.

子宮内膜組織における 238 個の遺伝子の発現量を調べ、着床能のバイオマーカーとしての可能性を示した。

[The endometrial receptivity array for diagnosis and personalized embryo transfer as a treatment for patients with repeated implantation failure.](#) Fertil Steril. 2013, 100. Ruiz-Alonso M, et al.

反復着床障害をもつ患者の着床期子宮内膜の網羅的遺伝子発現解析から、着床ウィンドウのずれと遺伝子発現パターンに相関があり、個別化された胚移植が治療法となる可能性が示された。

[What a difference two days make: “personalized” embryo transfer \(pET\) paradigm: a case report and pilot study.](#) Hum Reprod. 2014, 29. Ruiz-Alonso M, et al.

反復着床障害をもつ患者に ERA が用いられ、個別化された胚移植が実施されて生児が得られた。

ERA の詳細に関しては当院でお聞きください。

エフ.クリニック 〒030-0843 青森市浜田 3-3-7 tel:017-729-4103